

## I

## 大学の概要

## 自己評価体制

## 本学における自己点検、評価の経緯

滋賀医科大学は昭和49年に開学して以来、有能な医療人、医学研究者の育成を目指すと共に、地域における中核的医療機関として機能するよう努力を続けている。その成果はこれまで発行されたいくつかの報告書に纏められており、自己点検、評価が絶え間なくなされてきたと思われる。

## 点検評価のシステム

## 1) 将来構想検討委員会

本学における研究、教育、診療活動の円滑な遂行とその改善のための必要事項の見直しを実施。

## 2) 自己評価システム等特別委員会

教育、研究活動の点検、評価と報告書作成に当たると共に、新たな改正案の作成を実施。(平成3年大学設置基準改正に対応)

## 3) 点検評価委員会

外部評価に対応し得る学内自己点検評価システムの確立を目指す。

## 点検、評価活動の内容

- 平成4年 各講座単位に教育、研究活動を点検すべく「滋賀医科大学研究の歩み(1974-1992)」を纏めて公表。
- 平成5年 医学教育に関するワークショップを開催。カリキュラムの検討を行い、改正を実施。
- 平成7年 「滋賀医科大学研究の歩み(1992-1995)」を公表。
- 平成8年 教育カリキュラムの問題点を検討。  
     「2学期制への統一」  
     「授業時間の短縮化(90分授業への移行)」  
     (9年度から実施)  
     「滋賀医科大学研究業績集」を発行。

平成9年 平成6-8年度の各講座、診療科の活動を分析し、「滋賀医科大学の明日に向かって：現状と課題」として纏めて公表。分子神経生物学研究センターの外部評価実施。

大学改革に関する第1回滋賀医科大学フォーラムを開催。大学の評価、教育の改革について討議。

平成9年度より、研究活動を公表すべく、自己評価に有用な研究業績をデータベース化した。

平成10年 医学教育に関するワークショップ開催。医学教育目標の設定、教育方法の立案及び評価方法の策定について討議。大学改革に関する第2回滋賀医科大学フォーラムを開催。大学審議会答申「21世紀の大学像と今後の改革方策について」を踏まえ、新評価システム、教育改革及び看護学科の将来像について討議。

平成11年 点検評価委員会を設置。次年度の外部評価実施に向けて活動を始める。

## 点検評価の公表

- 1) 滋賀医科大学研究の歩み(平成4年、冊子体を発刊)
- 2) 滋賀医科大学研究の歩み(平成7年、冊子体を発刊)
- 3) 滋賀医科大学研究業績集(平成8年、冊子体を発刊)
- 4) 研究業績データベース化(平成9年、ホームページ掲載)
- 5) 滋賀医科大学雑誌(平成10年、ホームページ掲載、院生の研究成果を発表)
- 6) 滋賀医科大学の明日に向かって「現状と課題」(平成10年、冊子体を発刊)
- 7) 研究者総覧(平成11年、ホームページ掲載)

## 講評

- 1) 将来構想検討委員会、自己評価システム等特別委員会による自己点検評価  
     → 研究業績集の発行、教育カリキュラムの改正
- 2) 滋賀医科大学フォーラムでの全学的討議  
     → 改革への積極的意識形成